

単元名 かけ合いと重なり

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想と呼びかけとこたえなど、音楽の構造との関わりに気付くことができる。
 (2) 楽器の音や掛け合いと重なり、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを
 感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見い出
 し、曲全体を味わって聴くことができる。
 (3) 楽器による呼びかけ合いや音の重なり、楽器の響きを楽しみながら、主体的・協働的に学習活
 動に取り組もうとする。

標準的な展開例

04070203_001

【教材名】アラ ホーンパイプ (鑑賞)

(P. 32～P. 33)

【準備等】鑑賞CD, ワークシート

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|---|--|
| <p>1 「アラ ホーンパイプ」を聴いて、トランペットとホルンのかけ合いや重なりに気付いて聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <主なせんりつを中心とする部分>を聴き、特徴に気付く。 ★ かけ合いや重なりのおもしろさを味わおう <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲冒頭から、旋律を口ずさむなどしながら聴き、気付いたことを出し合う。 ○ トランペットとホルンについて知り、音色や響きの違いを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器について理解する。 ・ 響きに気を付けて聴く。 ・ 印象に残ったことをメモしておく。 <p>2 「アラ ホーンパイプ」の全体の曲想とその変化を感じ取って聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <せんりつの感じが大きく変わる部分>を聴き、特徴に気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時を振り返り、<主なせんりつを中心とする部分>の呼びかけ合いについて確認する。 ○ 呼びかけ合いを意識しながら、冒頭から<せんりつの感じが大きく変わる部分>までを聴く。 ○ <せんりつの感じが大きく変わる部分>を抽出して聴き、気付いたことを交流する。 ○ 全曲通して聴き、形式に気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 冒頭から全曲を通して聴き、気付いたことを交流する ・ トランペットとホルンの呼びかけ合いによって「主なせんりつを中心とする部分」が再現されることに気付く ・ 印象に残ったことをメモしておく。 <p>3 全曲通して聴き、よさや面白さを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「水上の音楽」についてや、作曲された背景、作曲者ヘンデルについて大まかに知る。 ○ 前時までの各自のメモを手元に置きながら学びを振り返り、曲全体を何度か聴きながら、感じ取ったことや想像したことを紹介文にまとめる。 ○ 紹介文を発表し合い、友達と意見を交流するなどして、曲のよさに気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ この曲の面白いところや、お気に入りのところなどを友達に伝える。 ○ 曲全体の特徴や演奏のよさを味わう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲全体を通して聴き、特徴や演奏のよさを味わう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初は全曲を聴かず、A－B－AのAの部分だけ取り出して聴いていく。 ・ 実物があれば見せたり音を聴かせたりするとよい。 ・ トランペットのグループと、ホルンのグループに分かれ、向かい合ってそれぞれ聴こえてきたら吹く真似をしながら聴き、呼びかけ合ったり一緒に演奏したりしていることに気付かせる。 ・ 弦楽合奏の部分は、教師が引き真似をするなどしてつなぐ。 【共通事項】音色 旋律 呼びかけと答え 音の重なり 【評】楽器による呼びかけ合いや音の重なり、楽器の響きを聴く活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 楽器の吹き真似などをして、トランペットとホルンの音を確認しながら聴いてもよい。 ・ 呼びかけ合いに注目して聴くと、形式に気付きやすい。 ・ 曲の感じが変わり、呼びかけ合いが無くなることに気付かせる。 ・ 曲の特徴に関する発言については、曲を再度聴きながら確認していくようにする。 ・ 聴く前に<せんりつの感じが大きく変わる部分>の後に、どんな旋律や楽器が出てくるか気を付けて聴くように伝える。 ・ <まなびリンク>の動画を活用してもよい。 【共通事項】反復 変化 【評】曲想と呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりを捉える活動を通して「知識」を評価する。 ・ 前時までの一人一人の気付きの積み重ねを生かした学びとする。 ・ まとめるときの言葉がうまく出てこないときは、メモに立ち返ったり、友達の意見を参考にしたりしながら紹介文を書いていくようにする。 ・ 友達の紹介文の発表内容から、曲のよさなどについて再発見したことがあったら、学習カードなどにまとめるようにする。 【評】楽器の音や掛け合いと重なり、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら聴く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 |

【 備 考 】